

# QOL

Quality Of Life

QOL  
サポーター  
新潟

vol. 62

02 **[特集1]** 新入生へのメッセージ 学長/副学長挨拶

04 **[特集2]** 2024年4月開設 心理健康学科

06 **[特集3]** 健康栄養学科 紹介

08 **[くらしサイエンス]** 大谷翔平のスイーパーはなぜ打てないのか、視能訓練士の目線から考える

10 キャンパスニュース



新潟医療福祉大学 広報誌のQOLサポーター新潟  
Vol.62 2024年4月1日発行



新潟市北区島見町1398番地 TEL: 025-1257-4455(代)  
https://www.nuhw.ac.jp  
【入試事務室】TEL: 025-1257-4459 E-mail: nyuusi@nuhw.ac.jp



Gallery NUHW

## #NUHWSnap

新潟医療福祉大学のキャンパスライフ/  
在学生の休み時間に潜入しました。  
リアルな学校生活の様子を  
Check!!

## SNS INFORMATION

大学の日々の出来事などリアルタイムな情報を随時発信しています。

### LINE

イベントや入試などの最新情報をいち早くお届け!



### X(旧Twitter)

学内のちょこっと話、ニュースをリアルタイムで配信!



### Instagram

キャンパスの風景や学生のファッションスナップなどおしゃれ写真を配信。



### TikTok

流行りの音楽にのせて、キャンパスライブをご紹介します!



### Facebook

新潟医療福祉大学での出来事やニュースをご紹介します。



### YouTube

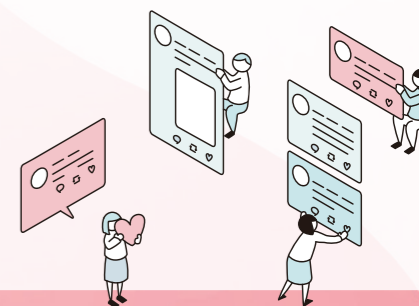
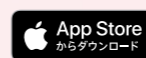
大学紹介や学内の雰囲気を感じられる動画が盛りだくさん。



### 新潟医療福祉大学受験生応援アプリ



大学の最新情報や入試情報などをプッシュ通知にていち早くお届け!オープンキャンパスのお申し込みやお問い合わせも簡単に!



## 優れた QOLサポーターを目指そう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを新たに新潟医療福祉大学に迎えることができ、教職員一同大変嬉しく思っています。保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

わが国は未曾有の超高齢社会に直面していますが、中でも健康の維持増進と健康寿命の延伸という目標を達成しなければなりません。本学はこのために欠くことのできない保健・医療・福祉・スポーツという分野に特化して、クライアントのQOLを支える多職種の優れた専門職を育成することを第一の目標としています。サッカーのアルビレックス新潟を支えるサポーターに倣って、「優れたQOLサポーターの育成」というスローガンを建学の精神に掲げているのです。第二の目標は新潟を始めとする地域社会と連携し、地域に貢献すること、第三の目標は国際社会に貢献するために国際交流を進めることです。QOL (quality of life) Sifeには、「生活」だけでなく



西澤 正豊 学長

皆さんは「誰かの役に立ちたい」という気持ちをもって新潟医療福祉大学に入学してきたと思います。本学ではそのために必要なパワーを身に付けてもらいます。皆さんには、資格試験に合格して専門職となるのが当面の目標になります。その後も学び続けることができるよう、5つのSTEPSを修得することを学修の目標として掲げています。最初のSはScience & ArtのSで、専門知識と技量を身につける能力、TはTeamwork & LeadershipのTで、チームワークを高め、リーダーシップを発揮する能力、EはEmpowermentのEで、クライアントを力づける能力、AはProblem-solving Skill、課題を解決する能力、2つ目のSはSelf-actualization (actualization)のSで、自己を実現する能力を指しています。

本学が目標とする「優れたQOLサポーター」となるためには、この5つの能力を身につけることに加えて、もう一つ大切なことがあります。それは、当事者に「共感できる力」です。英語ではempathyといいますが、「他者の感情や経験を理解する能力」を指し、相手のことを気遣う力、慮る力という意味です。能力ですから、努力すれば身につけることができます。似た単語にsympathyがありますが、「こちらは「相手のことをかわいそうだと思う感情、ある考えなどを支持し、同意を示す行動」という意味です。日本語ではこれを「同情」と訳していることが多いですが、同情は自分の立場から相手を見た言葉なので、時に上から目線になり

がちです。一方、共感相手の立場になって初めて生まれる感情です。「優れたQOLサポーター」になるために、皆さんに身につけてほしいのは、言うまでもなく共感できる力です。本学で5つのSTEPSを身に付け、共感できる力を磨いてください。

世界は新型コロナウイルスのパンデミックから5年目を迎えています。オミクロン株以降は幸い、重症化する患者さんは少なくなりました。2023年5月8日からは、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に変更されました。皆さんのような若い世代がオミクロン株やその下位変異株に感染しても、軽症や無症状で済みます。しかし、基礎疾患を持つ人たちが、高齢者が感染すれば、もともと持っている病気が悪化して、亡くなってしまうリスクが依然あります。地域に出て、さまざまなクライアントに接する機会が多い皆さんは、自らが感染しているかもしれないと常に自覚し、周囲の人たちに感染させないように配慮して、慎重に行動することが求められているのです。感染弱者のクライアントにも配慮ができるQOLサポーターになってください。

皆さんの大学生活がより多いものとなるよう、われわれ教職員は皆さんを徹底的にサポートします。新潟医療福祉大学で「優れたQOLサポーター」を目指しましょう。

### PROFILE

【専門】臨床神経学・神経科学  
【学位】博士(医学)/東京大学医学部卒業  
【所属等】名誉会員(日本神経学会・内科学会・神経免疫学会・小脳学会)、認知症学会代議員、功労会員(神経化学会・神経感染症学会・神経治療学会)、NPO法人新潟難病医療ネットワーク理事長、新潟市難病対策地域協議会会長、新潟県難病医療連絡協議会会長、American Academy of Neurology (Active Corresponding Member)

## 新入生へのメッセージ



副学長 (研究・産官学連携担当) 大西 秀明

### PROFILE

【専門】基礎理学療法学、神経科学  
【学位】博士(障害科学)  
【所属等】日本理学療法士協会、日本基礎理学療法学会(副理事長)、日本臨床神経生理学(代議員)、日本生体磁気学会(評議員)、全国大学理学療法教育学会(理事長)、日本リハビリテーション医学会、日本体力医学会、新潟医療福祉学会



副学長 (教育担当) 大山 峰生

### PROFILE

【専門】ハンドセラピー、手の機能解剖、運動学  
【学位】博士(障害科学)  
【所属等】日本ハンドセラピー学会理事長、日本作業療法士協会、日本手外科学会、日本肘関節学会、日本臨床神経生理学、新潟医療福祉学会



副学長 (社会連携担当/同窓会・生涯学習担当) 西原 康行

### PROFILE

【専門】暗黙知研究  
【学位】博士(教育学)  
【所属等】日本体育・スポーツ・健康学会代議員、日本体育・スポーツ経営学会、日本教育工学会、日本スポーツ産業学会、新潟県スポーツ推進審議会会長、新潟市スポーツ推進審議会会長、新潟県教育庁部活動改革委員長、新潟文化スポーツコミッション委員長、Federation Internationale de Education Physique Editorial Board 等

## 充実した大学生活を送って下さい

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響が激減したとは言え、不自由な高校生活を過ごされたことと推察します。そのような中、受験を乗り越え、本学に入学されたことを心より嬉しく感じています。

本学は、保健・医療・福祉・スポーツ領域にかかわる「優れたQOLサポーター」を育成することにも、関連する学術を探索し、その成果を広く社会に提供することを使命としています。意欲溢れる皆さんが学問に専念できると同時に豊かな人間性を育めるよう全力でサポートしますので、皆さん自身も自らの夢の実現に向けて能動的に様々なことに取り組んで下さい。

この春からは、少しでも早く環境に適応し、健康と安全に留意しながら楽しい大学生活を送って下さい。皆さんが大学生としての自主性、自律性を有し、充実した大学生活を送り、4年後に「優れたQOLサポーター」になって卒業されることを心より願っています。

## 決意を新たに実行、そして継続！

ご入学おめでとうございます。私は皆さんの大学生活での最大の目標は豊かな教養と専門的知識を習得することによって自らを成長させることと思っています。

この目標を達成させるために、皆さん！ここで一旦、自らの将来像をより明確にし、日々どのように時間を使うか決意を新たにしてください。そして、漠然と大学生活を始めるのではなく、是非この決意を入学と同時に実行し、継続してください。やがて、それは自信となって、困難に陥った時でも奮起できる大きな力になります。卒業時にはきつと初期の目標を達成していることと思います。

また、これから迎える大学生活は、友情を育み、人生について考え、人格を形成する大事な場でもあります。本学は開学以来飛躍的な発展を遂げており、これらを満たす十分な環境が整っています。是非、この学生時代に多くを体験し、よき友を得、種々の問題について真摯に議論し、「良好な人間関係を築き上げる能力」「や」「人と協調して物事を達成する能力」、つまり連携する能力を身に付け、じつじつと自らを成長させてください。皆さんのご発展とご活躍を期待しています。

## 社会に生きる自らの骨格を作ろう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新潟医療福祉大学の教職員及び大学キャンパスのある新潟市北区の地域住民の方々は、皆さんの入学を心から歓迎しています。

本学の教育理念は「優れたQOLサポーターの育成ですが、この教育理念は、これから皆さんが生きる社会において核となる大切な理念です。日本社会は第二次世界大戦終了以降、四つの価値観の変容があったと言われています。一つ目の価値観は、戦後の社会混乱や食糧難の中で「命を落とさず、生き残ること」です。二つ目の価値観は、戦後復興を果たし、高度経済成長の中で「モノを所有すること」です。車、家電製品、家などを所有することが豊かな生活であるという価値観です。三つ目の価値観は、経済成長を果たし、ゆとりのある生活になったことで「生活の質を高めること」です。この生活の質を高めることがQOLと言えるでしょう。四つ目の価値観は、「共に支えあいながら（サポートしながら）生活の質を高めること」です。つまり、QOLサポーターが今の社会には求められています。そして、共に支えあいが生活の質を高めるためにはお互いに手の届く地域ベースで支えあう意識が必要で

本学は新潟市北区の方々と共に地域を創っていく様々なプログラムを用意しています。地域というフィールドで優れたQOLサポーターの力量を身につけ、これからの社会に生きる自分の骨格を作っていくまじゅう。



2024年4月  
新設



心理・福祉学部

# 心理健康学科



まずは自分を理解すること



山本 裕二 教授

略歴  
名古屋大学 名誉教授  
前 日本スポーツ心理学会会長  
(一社)日本体育・スポーツ・健康  
学会体育心理学専門領域会長  
(一社)日本体育・スポーツ・健康  
学会「体育学研究」編集委員長

「基礎(あたま)×臨床(こころ)×運動(からだ)」をまるごと理解することによって、自ら成長し未来社会を創る「心理健康学科」です。

「人」は生まれてから死に至るまでその一生の中で環境に適応し、発達していきま。種としての「ヒト」は進化の中で、高度な脳機能を獲得し、文化を育んできました。また我々は「人間」として、社会の中で様々な行動を学習しながら生きていきます。心理学は「こうした」「ヒト」「人間」の心や行動を、実験や観察、面接や調査など科学的な手法によって、実証的に明らかにしていく学問です。人の生き方に正

解はありません。だからこそ、正解のない問いに挑戦し続けることが「生きる」ことなのです。そのためには、まずは自らの「身心の健康」が大切です。心理健康学科では、自らの身心の健康を維持・増進し、他人を理解するために、まずは自分を理解することを目指します。

自分をもっと知りたい人、他人を支援したい人、社会の役に立ちたいと考えている人と一緒に成長しましょう。自らの成長が他人を支援することに繋がります。「ヒト・人・人間」ってなんだろう?一緒に考えていきませんか?

目標とする資格

## 公認心理師<sup>※</sup>

公認心理師は、年々複雑かつ多様化してきている心の健康問題に、必要なケア、サポートを行い問題解決に導く専門職です。2017年に施行された日本で唯一の心理職の国家資格であり、保健医療、福祉、教育、司法、産業の幅広い分野での活躍が求められています。  
<sup>※</sup>卒業後、大学院での指定科目の履修または規定の実務経験が必要となります。

取得可能な資格

- 認定心理士
- 産業カウンセラー
- 社会福祉主事任用資格

introduction

## 研究紹介

山本 裕二 教授



他者との「切磋琢磨」を  
スポーツで探る

スポーツの場面では、常に他者と競い合うことで「切磋琢磨」しながら、お互いに上達していきます。この「切磋琢磨」の仕組みには、人が成長を繰り返すヒントがあるはず。この「切磋琢磨」するためには、他者の意図を読む必要があります。上手な人は他者の意図を探るための駆け引きを行っているのです。実際の試合での動きから、この駆け引きの妙を探り、人がどのように他者の意図を推察し、「切磋琢磨」しながら成長しているのかを考えています。

動物の「考え方」の多様性  
その由来を探る

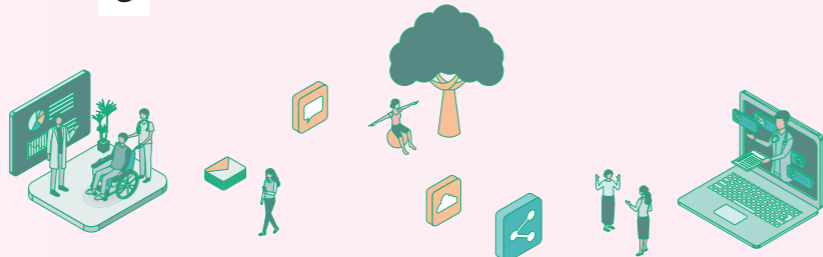
私たちは身の回りの情報を、目や耳などの器官を使って体に取り入れ、記憶や感情などと合わせてどのように振舞うかを決定します。同じ情報でも、処理の仕方には動物一般に共通する部分と、種や個体ごとに異なる部分があります。私は、これらの認知機能の共通点や相違点の由来を知るために、動物の心や体の進化との関係に着目して研究を行っています。このような研究を通して、動物の考え方の多様性や、それを支える体の役割について理解を深めたいと思います。

野村 照幸 教授



ピンチがチャンスに変わる  
「クライシス・プラン」

精神的な問題を抱える方の中には、つらく、苦しい状態になり、場合によっては望まない入院をする方がいらっしゃると思います。「クライシス・プラン」はそうした方々を支えるツールであり、安定した状態を続け、ピンチの時でも冷静に対処できる力を養うためのものです。さらに、家族や専門家と協力し、一人ひとりが自分らしい回復の道を見つけ、成長することを目指しています。こうしたクライシス・プランの有効性を研究し、良い支援を



## こども園おやつ部 発足!

- 部員数/9名
- 活動内容/月に1回程度、学生が考案し試作したおやつをこども園の園児たちに提供、授業の都合が合えば、インターナショナルこども園でおやつ作りを実施
- 2023年度の活動/かぼちゃのクッキーやカップケーキ、かぼちゃとチーズのおにぎり、スイートポテトの提供など、園児と一緒にハロウィンイベントへの参加

## 学んだ知識を実践!

大学の敷地内にあるインターナショナルこども園と健康栄養学科がコラボしておやつを提供することにより、園児は多様なおやつを食べられるだけでなく学生と触れ合うことができます。一方、学生としては管理栄養士の卵として学んだ知識を活かす実践の場になっており、園児と学生が触れ合う貴重な機会になっています。

提供する季節や年齢、子どもたちの好きな食べ物などをふまえたおやつを考えることで、園児に「美味しい」と笑顔で食べてもらえることを楽しみに活動しています。



## 「食の楽しさ、大切さ」をお伝えします!

スポーツ選手やアスリートを目指す学生等さまざまな立場の人々に食を通じて貢献し、美味しく食べることやその大切さを伝えていく事を目的として、2016年に発足されました。栄養サポート部の活動を通して関わった皆さんに、「食の楽しさ、大切さ」をお伝えできればと思います。



## 栄養サポート部からレシピをご紹介いただきました!

# かぼちゃとパプリカのカラフル甘辛焼き



### 材料(1人分)

- かぼちゃ……………120g
  - パプリカ(赤)……………10g
  - 小松菜……………10g
- 【焼くとき】
- 油(種類は何でもOK)……………1~2g
  - 白ごま(いり)……………2g

- 【調味料】
- ★濃口しょうゆ……………7g
  - ★上白糖(砂糖)……………5g
  - ★酢(穀物酢または米酢)……………3g
  - ★水……………6gくらい

### ●作り方

- 1 ★調味料を全て計量し、油とごま以外はボウルで混ぜる
- 2 かぼちゃとパプリカは0.5cm~1cm程度にスライスし、小松菜は3cm幅にカットする
- 3 フライパンに油を入れ、かぼちゃを焼く(最初は中火で焼き色がついたら弱火で)
- 4 ③に小松菜、パプリカを入れ、フライ返しで混ぜ、2分したら★調味料を全て入れて水気が無くなったらゴマをちらして完成



## 栄養 サポート部

- 部員数/約40名
- 活動内容/ローイング日本代表チームや本学陸上競技部女子長距離ブロックへの栄養サポート
- 2023年度の活動/ローイング日本代表チームパリオリンピック日本代表候補強化合宿における食事提供、本学陸上競技部女子長距離ブロックへレシピ提供・栄養指導・料理教室の開催など、菓子メーカーとの共同レシピ開発事業

2025年4月定員増(構想中)

入学定員

40名、80名

こども園おやつ部発足

栄養サポート部

2025年4月  
入学定員増構想中!  
40名▶80名

※構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

## 注目ポイント

### SDGsに配慮した研究・実習棟を新設予定!

1階には栄養実習系、2階にはHACCPに対応した給食実習系の教室を配置し、充実した施設設備を利用して学びを深めることができます。また、現存するキャンパスの中でも先行してZEBを導入し、環境や省エネルギーに配慮した施設とする予定です。

### 栄養ケアセミナールームを設置!

本学の強化指定クラブやプロスポーツチーム「アルビレックス」の選手、地域住民を対象に栄養指導・栄養相談などを計画しています。

## 目標とする 資格

- 管理栄養士(国家資格)
- 栄養士
- 栄養教諭一種免許
- NR・サプリメントアドバイザー(日本臨床栄養協会認定資格)

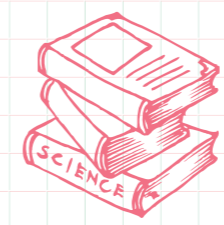
# 健康栄養 学科に注目

2001年に設置された健康栄養学科では、管理栄養士や栄養教諭一種免許などの資格を目指すことができます。2025年4月の入学定員増(構想中)や、強化指定クラブへの栄養サポート、本学附属インターナショナルこども園のおやつを考案・調理・提供するなど注目を集めている健康栄養学科をクローズアップします。



$$S_x = \frac{U^2 \sin^2 \theta}{g} = \frac{U^2 \sin \theta \cos \theta}{g}$$

# くどし サイエンス



## 見えているのは錯覚!?

消えているはずのモノが見えていると感じる錯覚に「representational momentum (RM)」とよばれる現象があります。対象物が移動している、その移動の途中で消失すると、実際に物体が消えた位置よりも移動経路上のもっと先の位置(物体が消えなければ本来移動してきたはずの先の位置)で消えたと錯覚する現象です。RMに関する実験において、野球の熟練者は物体が消失しているにもかかわらず、その後も物体が見え続けたと感じる距離が長くなることが報告されています。つまり物体が消えてからの、見えていない情報を脳内で作り出していると考えられます。脳内で先の情報を作り出していると言うと聞こえが悪いですが、消失後に移動物体が長く見えていたと錯覚する打者ほど、消えた後の移動物体を目標点で停止させる際の誤差が小さいことも報告されています。そのため、優れた打者は本当に最後までボールが見えているように感じているのかもしれませんが。

### テーマ

## 大谷翔平のスリーパーはなぜ打てないのか、視能訓練士の目線から考える

### プロ野球選手はボールを最後まで見ているのか!?

「打撃の神様」と呼ばれた川上哲治はいわゆる「ゾーン状態」に入った時に「ボールが止まって見えた」と語っています。しかし打つギリギリまでボールを正確に見極めることは、眼の機能から考えるとかなり難しいと言わざるを得ません。モノを正確に見るためには網膜の中心にある中心窩(網膜の中の直径 0.4mm)しかない凹んだ部分に外界の像を結像させる必要があります(図1)。中心窩に見たいモノが結像されれば視力は1.5や2.0と高くなりますが、中心窩から角度が5度離れた網膜上での視力は0.1程度と低くなってしまいます。そのため正確な追視には、眼や頭を動かして中心窩に常に見たいモノを結像させ続けることが重要です。



### 大谷翔平のスリーパーはなぜ打てないのか。

これらのことから、打者は投手が投げたボールをある程度離れた位置までは見ており、最後はボールの軌道を創造してバットを振っていると予想されます。大谷の決め球であるスリーパー(スライダー)を打てる打者がいないのは、メジャーリーガーであっても軌道が予測出来ないからでは無いでしょうか。2023 WORLD BASEBALL CLASSICの決勝の最終回に大谷が同僚のトラウトに対して最後に投げたスリーパーは球速140 km/hで、43cm変化だったそうです。同僚も打てないとなると、よっぽど予想不可能な軌道なのだと思います。打撃成績は一般的に「一巡目、二巡目、三巡目と進むにつれて上がってきます。視機能の面から考えるのであれば、スリーパーを攻略するためには、その軌道を経験し少しでも球筋が予測できるように何度もシミュレートすることが求められると思います。

参考文献・多々良 俊哉, 前田 史篤: スポーツと視機能・視覚の科学 4: 15-18, 2020.

1970年、Bahillらは紐につないだプラスチックのボールをモーターで引っ張り、最高速度160 km/hのボールを疑似的に再現しました。実験では160 km/hのボールに対する視線を解析すると、プロ野球選手であってもプレート位置から前方1.6m離れたところまでしかボールを追視していなかったことを明らかにしています。



視機能科学科  
多々良 俊哉 助教

$$E_1 + nr = E_2$$

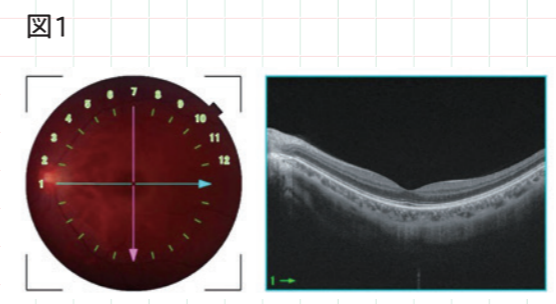
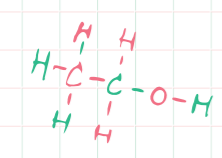
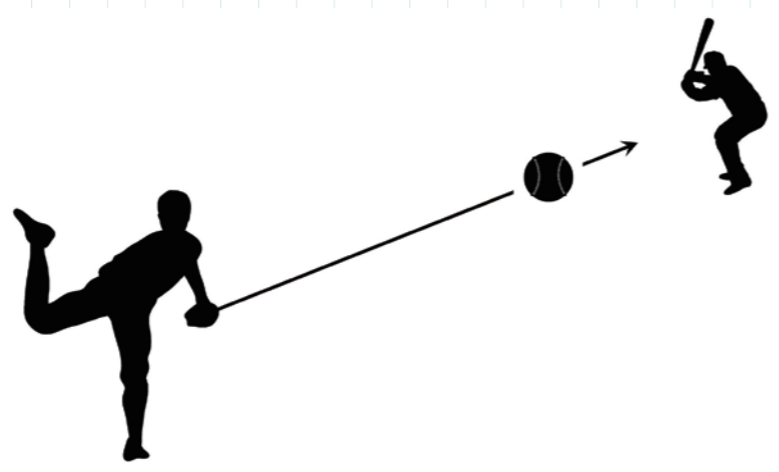
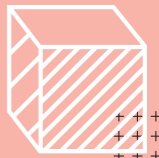


図1 左図: 網膜の写真。右図: 網膜の断層図。





# キャンパスニュース

ホットで旬なニュースをお届け!



## 【社会福祉学科】緑の環境プラン大賞で国土交通大臣賞を受賞しました。

原口 彩子 准教授のゼミ(以下、原口ゼミ)が、公益財団法人都市緑化機構主催の「第34回緑の環境プラン大賞」ボケット・ガーデン部門において、国土交通大臣賞を受賞しました。「緑の環境プラン大賞」は、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行う表彰事業です。新潟リハビリテーション病院の空き地をメデイカルハーブのポーターガーデンとして生まれ変わらせ、患者のリハビリや地域住民の憩いと交流の場の役割を果たすことを目指すプランです。



社会福祉学科の学生と知的障害を有する方々が「病院を癒しの場に」をスローガンに6年間協働して、ハーブガーデンの管理や外観整備を行ってきた活動の一環です。多くの人に緑と触れ合う機会をもたらすとともに、ガーデンの日常管理を系列福祉施設の入所者が担うことで、多様な人材が活躍できる場の提供につながる点が評価されました。

## 【陸上競技部】渡辺 約 選手が「東アジアU20大会」男子砲丸投で2位!

2023年10月27日(金)に揚州(中国)で開催された「第1回東アジアU20選手権」男子砲丸投で、

## 渡辺 約 選手(健康スポーツ学科1年)開志国際高校出身)が出場し17m38身)が2位となりました。



## 【女子硬式野球部】ユニフォームお披露目記者会見を開催しました!

11月22日(水)に、2024年4月に強化指定クラブとして創部する、女子硬式野球部のユニフォームお披露目の記者会見を実施しました。女子硬式野球部監督の後藤 桂太 先生、男子硬式野球部監督の佐藤 和也 先生が登壇し、女子硬式野球部のユニフォーム作成の思いや、半年後に迫った創部に向けた意気込みについて語りました。また、本学在学中でマネージャーとして入部予定の中原 鼓さん(健康スポーツ学科1年)も写真中央も登壇しました。



## 【健康スポーツ学科】スポーツ庁のコンペで優秀賞を受賞!

スポーツ庁主催の「スポーツ・健康まちづくりデザイン」学生コンペティション2023」アイデア部門において、健康スポーツ学科の山本 悦史 助教のゼミに所属する学生4人が優秀賞を受賞しました。オリンピック種目に採用されたスケート

## 【社会連携】めがねのまちさばえ眼育(めいく)活動

2023年12月14日(木)、福井県鯖江市のゆたかこども園と中河保育所で社会福祉学科3年生の船浪 帆夏さんと加藤 徹大さんが「めがねのまちさばえ」をテーマに「めがねの妖精」と題した眼育講習を実施しました。この講習では、目の大切さを伝える劇、目と体を使った簡単な体操、動体視力を鍛えるゲームを約120名の園児が楽しみました。今回の活動にあたって、船浪さんと加藤さんは、幼児の運動と指導に関して近所ボランティアセンター長より指導を受け、念入りに準備をし、当日を迎えました。



活動を通じて、園児はハウレンソウやニンジンなど目に良い野菜の重要性や、自分の目を大切にすることの大切さを学びました。この活動は、当日の「NHKニュースザウルスふくい」と12月15日の福井新聞朝刊で取り上げられました。近年、子どもたちの視力低下やアジア地域の近視人口の急増への対応がクローズアップされており、幼少期からの健康に留意することが重要です。

## ポードやブレイキンなどのアーバンスポーツ競技に世界的な注目が集まる中、新潟県五泉市のアーバンスポーツ施設の整備に関わる計画に焦点を当て、「Gosen PROJECT」と題したスポーツ・健康まちづくりのアイデアについてプレゼンテーションを行い、94点の応募の中から優秀賞の受賞に至りました。



《受賞者》健康スポーツ学科3年 宇野 帆人さん、川村 愛斗さん、永井 優さん、丸山 大さん

## 【男子サッカー部】坂岸寛大選手、田中翔太選手、沼田航選手がJリーグへ!



坂岸選手はJ2いわきFC、田中選手はJ3ガイナレ鳥取に沼田選手はJ3アスルクラロ沼津にそれぞれ内定!

## 【女子サッカー部】4名の選手がプロサッカー選手として新たな活躍の舞台へ

佐々木 美悠 選手、谷口 愛奈 選手、豊村 文香 選手はスベラントア大阪へ、中尾 奈摘 選手はヴィアマテラス宮崎へ。4名がなでしこリーグ1部への加入が決定!



## 【硬式野球部】目黒宏也選手がオイシックス新潟アルビレックスBCに加入決定!

今シーズンからプロ野球ファームリーグに参加するオイシックス新潟アルビレックスBCへの加入が内定した目黒選手が大学内で記者会見を行いました。「シーズンを通して投げたき、レベルの高い選手からたくさん吸収したい」と意気込みを語りました。目黒投手は長岡市出身。左投げ左打ちのスリークォーターで、出どころが見えにくいフォームで打者を詰まらせるのが特徴。記者会見に同席したオイシックスの橋上 秀樹 監督は「伸びしろがたくさんありそこに一番の期待をしている。さらに上のステージに上がっていくことにも期待したい」と述べました。



## 【健康栄養学科】準グランプリ・特別賞を受賞!にいがた食と農の未来学生ビジョンコンテスト2023

公益財団法人「食の新潟国際賞財団」主催の「にいがた食と農の未来学生ビジョンコンテスト2023」において、健康栄養学科の学生が、準グランプリと(公財)食の新潟国際賞財団特別賞を受賞しました。鈴木 一忠 教授のゼミに所属する健康栄養学科4年の学生は「ナトカリスムージー」をテーマに設定し、新潟市の健康課題である高血圧予防や朝食欠食の改善を目的としています。新潟市北区の規格外の野菜や果物を使って、ナトリウムとカリウムの比率を調整したスムージーを活用することを提案し、準グランプリを受賞しました。

## 【準グランプリ】受賞者：健康栄養学科4年 谷川 まゆさん、加藤 凛さん

《(公財)食の新潟国際賞財団特別賞》受賞者：健康栄養学科3年 寺西 沙利奈さん、池田 萌恵さん

